

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス えぶりクラブ		
○保護者評価実施期間	令和8年2月19日		～ 令和8年2月23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	令和8年2月19日		～ 令和8年2月23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	R8年3月27日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	医療的ケアのある利用者へ、1日1～2名の入浴サービスを行っています。	個々の降所希望時間に合わせて、入浴時間やケアの調整も行っていきます。	入浴の希望が多く、一部の日には対応が難しい状況となっています。今後は曜日や時間の調整を工夫し、できる限り多くの皆さんに入浴支援を行える体制を整えていきたいと考えています。
2	一日の定員が少人数ということもあり、利用者の希望やその日の体調に合わせた活動、利用者に必要なケアも体調に合わせて行っている。	家族や学校の先生からの情報を踏まえ、活動内容を適宜調整し、臨機応変に対応している。排痰ケアとして腹臥位を取り入れるほか、呼吸の安定を図るための体位変換を行い、利用者の体調維持に努めている。	ケア内容やその効果を定期的に評価し、改善策について多職種で協議したうえで、利用者に対して統一された支援を提供します。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童クラブや児童館との交流や地域のこどもと活動する機会が少ない事、父母の会の活動、きょうだい向けのイベントの開催が行えていない	ご利用されている方は、重症心身障害や医療的ケアのある利用者が多く、感染症にかかると重症化・長期化しやすい利用者が多い状況です。そのため、障害のないお子さんとの交流をご利用時間帯に行うことをしてきていません。	ご利用時間内に行う場合は、保護者の方々のご希望もふまえながら慎重に検討していきます。
2	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等は策定されているが、保護者に周知・説明が徹底されていない	各種マニュアルについては年度初めにメールで周知し、避難訓練も定期的の実施のうえおたより等で報告していますが、十分に周知が行き届いていない状況です。	次年度からは、各種マニュアルを個人ファイルに保管し、いつでも確認しやすい環境を整えていきます。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス えぶりクラブ

公表日 R8年4月30日

利用児童数 年月日

回収数 9

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7			2		安心・安全なサービス提供のため、配置基準を上回る職員体制を整えています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9				階段も上りおりしやすいです。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9					こどもの特性や医療的ケアについて理解を深め、専門的な知識をもって支援にあたっています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されていると思いますか。	9				療育相談の機会も作ってくれたり、その都度話をしてくれています。	こどもの理解を基盤に、その都度ご家族と相談を重ねながら、個別支援計画の作成に努めています。
	8	個別支援計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9					
	9	個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9					利用者の意見も取り入れながら、プログラムが固定化しないよう工夫しています。
保 護 者 へ の 説 明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。		1		8		当事業所主催による活動機会はありますが、交流等を目的とした法人内外のイベントについて、情報提供を行っています。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8	1				安心してご利用いただけるよう、今後もより丁寧な説明を心がけてまいります。
	13	「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	1	1	3		家族支援プログラムの提供は現在行っていません。家族からのニーズをふまえる必要な状況がある場合は対応していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	9					降所時に利用中の様子をご家族にお伝えし、共通理解をはかっています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	1	6		現在、父母の会は設けておらず、きょうだい同士が集まる機会についても定期的な場は設けていませんが、きょうだいで参加できるセンター主催のイベントがある際には随時お知らせを行っています。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9					相談の申し入れがあった際や、必要と判断した場合には迅速かつ適切に対応していただけるよう努めています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9					日々の記録や降所時に、直接ご家族へ活動内容や体調等をお伝えしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9					定期的におたよりを発行し、活動内容やイベントについて報告しています。あわせて、自己評価についてもホームページに掲載しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	1		5		各種マニュアルについては、年度初めにメールで周知するとともに避難訓練も定期的を実施し、おたより等でその内容を報告しています。一方で、十分に周知が行き届いていない面もあることから、次年度より各種マニュアルを個人ファイルに保管し、いつでも確認しやすい環境を整えていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	1		4		定期的に避難訓練を実施し、避難経路の確認を行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	1				利用者の安全確保の方法について、ご家族に分かりやすく周知していきます
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7			2		事故やけがが発生した場合の家族への連絡方法については、年度初めに通知しています。なお、今年度はそのような対応が必要となるケースはありませんでした。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9					
	29	事業所の支援に満足していますか。	9					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日					
放課後等デイサービス えぶりクラブ		令和8年3月27日					
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		8	1	ベットを使用する利用者が多い場合などは、活動室が狭くなりますが、安全に過ごせる配置を考え対応しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		3	6		呼吸器装着を必要とする利用者や状態が不安定になりやすい利用者が増えており、さらなる職員の充実が必要と考えています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		7	2		活動室が比較的狭く、小さめのベットを使用していることから、環境設定が十分とは言えない場合もありますが、利用者が安全に過ごせるよう環境設定に配慮しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		7	2		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		3	6	活動室にはお部屋を仕切る扉があり、個別対応が必要な場合は、使用できる状態になっています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		8	1		業務の都合上、毎回すべての職員が参画することは難しい状況ですが、課題に対してPDCAを回し、解決につなげています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		9	0		評価表をもとに、家族の意見や要望などを把握し、職員間で共有しながら改善に繋がっています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		8	1	同職種での話し合いや多職種で意見を出し合う場を設け、日々の支援にその意見を取り入れるようにしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8	1	定期的に外部の第三者委員による評価を受け、業務改善につなげています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		9	0	センター全体で研修の確保はされています。	児発センターに求められる専門性の高い研修会の企画運営について検討していきます。
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		7	2		支援プログラムは作成していますが、現在は公表していないため、今後、公表に向けて対応していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。		8	1	ご家族とお話する機会を設け、ニーズ等を把握したうえで、個別支援計画を作成しています。	
	13	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		9	0	医師をはじめとする多職種のチームアプローチとして、共通理解の下、支援に関する様々な検討を行っています。	
	14	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		9	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		5	4	医療情報や相談支援のアセスメント、行動観察、反応などから多職種による見立てを行っています。	
	16	個別支援計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		9	0		

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	3		チーム全体での話し合いの機会が十分でないため、今後は話し合いの時間を確保し、チーム全体で立案できる体制を整えていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1	利用者の体調に合わせた活動を行い、活動に偏りがないように配慮しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	1	支援の内容や役割については、チェック表を用いて、確認しながら行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1	気付いた点、問題点などについてはすぐに話し合い、対応しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	9	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	学校との情報共有は、必要時に適宜行っています。特に体調面については、看護師が送迎時に申し送りを受ける体制としています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	1		外部の事業所との情報共有を行う機会はありませんが、今後は必要に応じて対応していきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	0	法人内での移行の場合は、スムーズに支援が受けられるように、情報提供を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	5		感染症対策を考慮し、現状では交流の機会を設けることができていませんが、対象となるご利用者の特性等を踏まえ、今後どのような形で機会を設けることができるか検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	降所時にご家族とお話する時間があり、課題などの共通理解は持っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	2		現在はペアレントトレーニング等は実施していませんが、ご家族のニーズを踏まえ、必要に応じて対応していきます。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0			

保護者への説明等	37	個別支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		
	38	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	9	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	6	3		現在、父母の会は設けておらず、保護者やきょうだい同士の交流の機会も設けていませんが、きょうだいで参加できるセンター主催のイベントについては、適宜お声かけを行っています。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	2		・感染症対策もあり、事業所の行事に地域の方をお招きする等は難しい。児発センターとして地域の方との繋がりは強化していけると良いと感じている
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0		ヒヤリハットなどのインシデントが起きた場合は、すぐに話し合いを行い、再発防止に努めています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0		虐待防止の研修を受講し、グループワークなども定期的に行っています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	9	0			